生涯学習活動に関するアンケート調査結果

令和７年９月

島田市社会教育課

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

この調査は、平成30年に策定した第２次島田市生涯学習推進大綱を改定するにあたり、市民の生涯学習への意識や取組みの現状を把握し、今後の本市の生涯学習施策方針づくりの参考とするため実施した。

２　調査対象者及び調査方法

島田市LINE公式アカウントに友達登録を行っている方へアンケート調査依頼文を配信し、Logoフォームを利用して回答の集計を行った。

３　調査期間

令和７年７月29日（火）～令和７年８月12日（火）

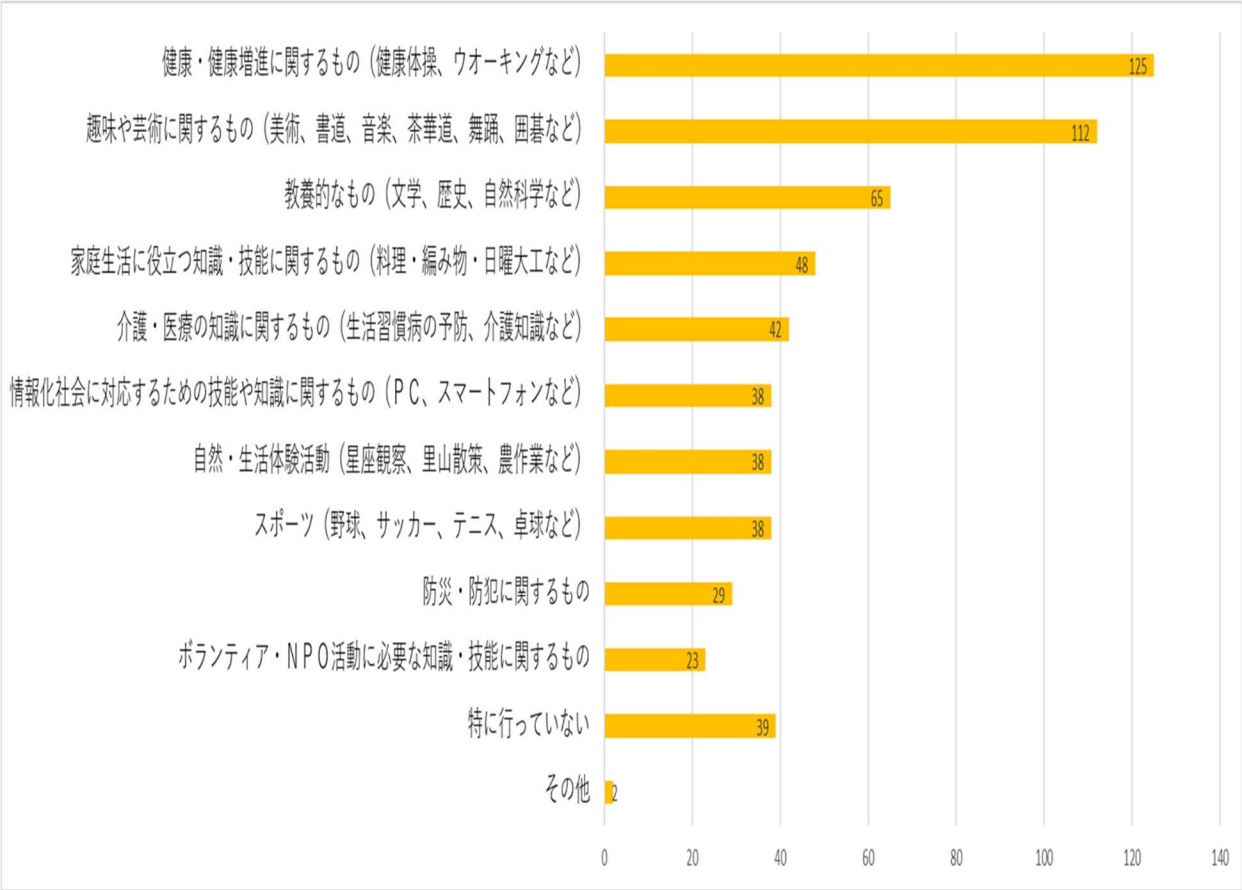
４　回収者数

２４７人

Ⅱ　調査結果

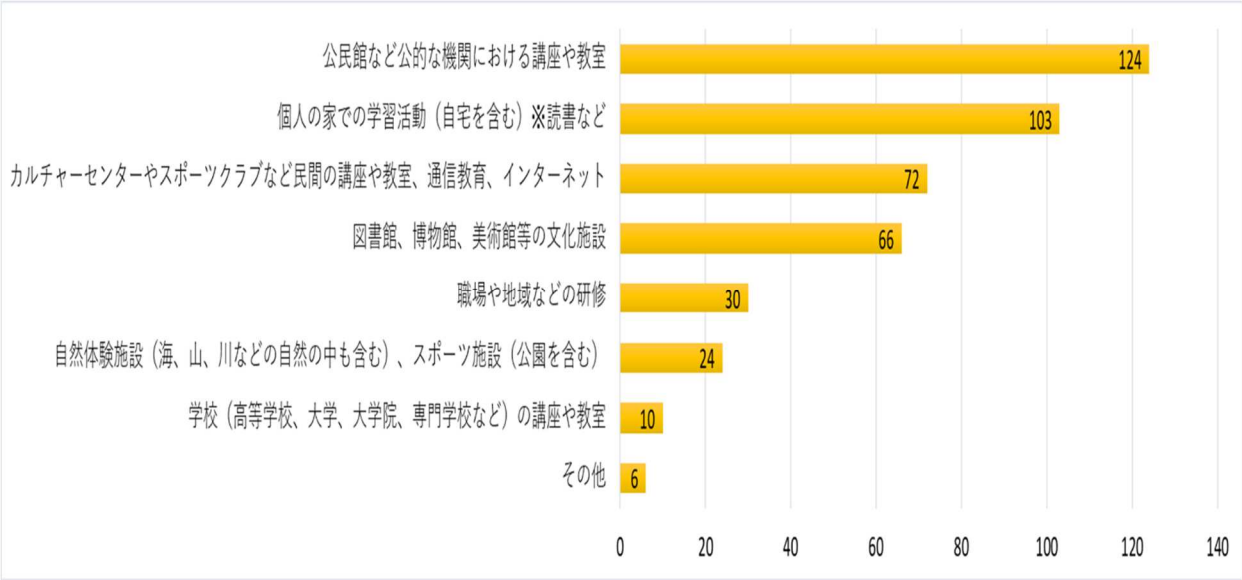
問１　あなたはこの１年間にどのような学習活動を行いましたか。（「特に行っていない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも）

「健康・健康増進に関するもの」が125件と最も多く、次に「趣味や芸術に関するもの」が112件となっています。一方、「特に行っていない」が39件(247人中15.8%)となっています。



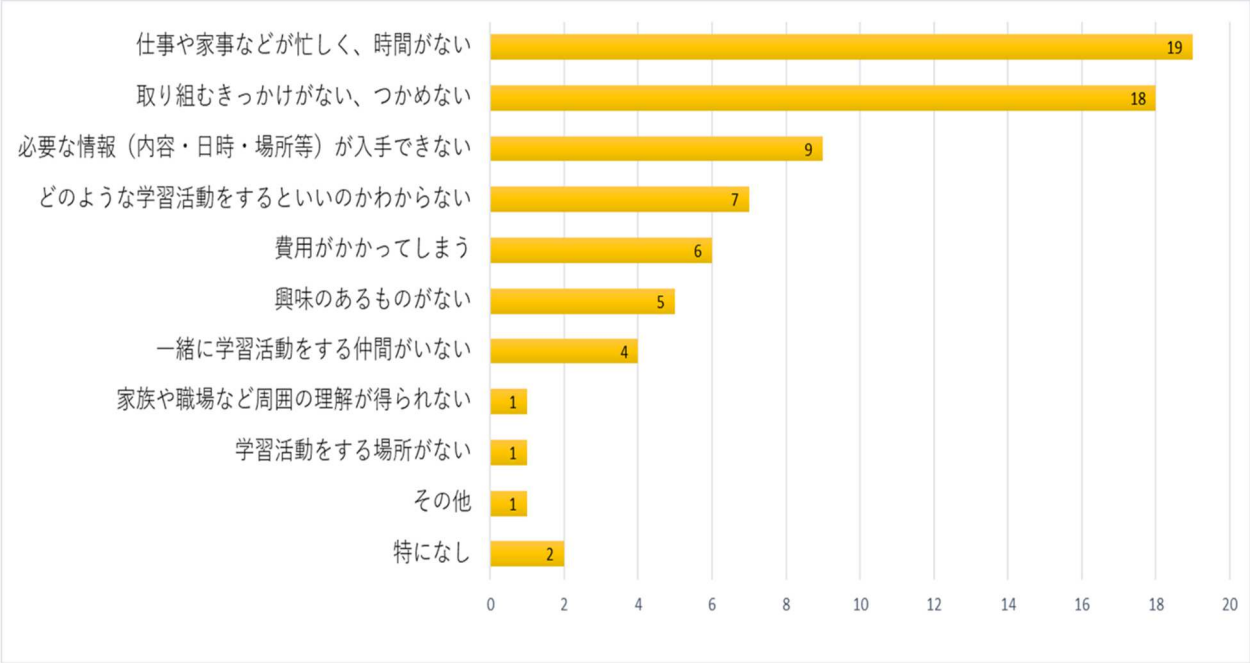
問２　（問１でいずれかの学習活動または「その他」を選んだ方にお伺いします。）あなたは、この1年くらいの間に、どのような施設や場所で学習活動を行いましたか。（回答チェックはいくつでも）

「公民館など公的な機関における講座や教室」が124件と最も多く、次に「個人の家での学習活動（自宅を含む）」が103件となっています。



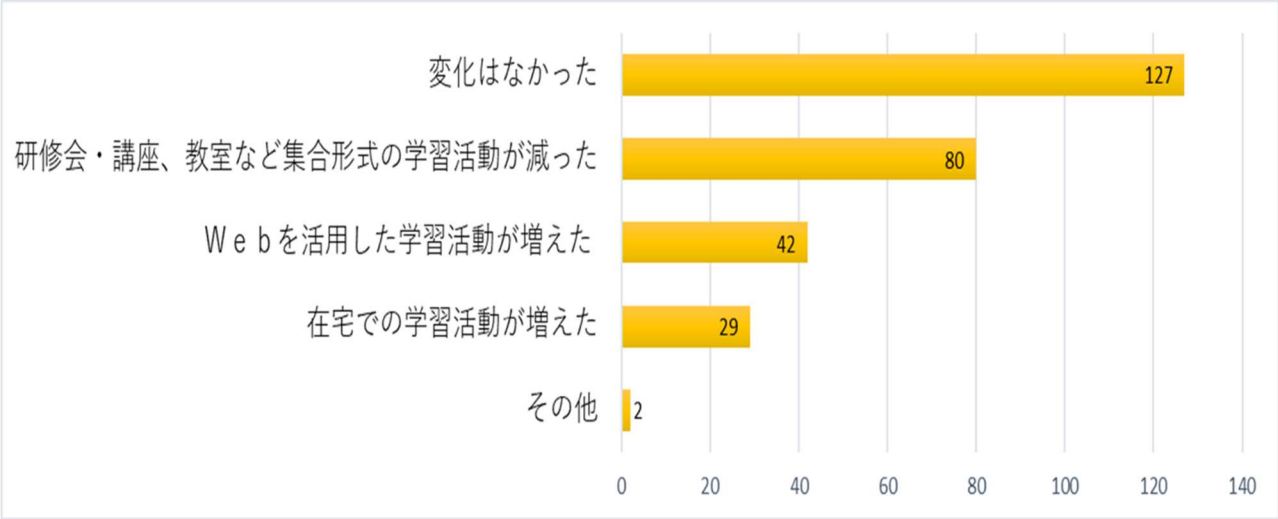
問３　（問１で「特に行っていない」を選んだ方にお伺いします。）あなたが、学習活動を行わなかった理由は何ですか。（回答チェックはいくつでも）

「仕事や家事などが忙しく時間がない」が19件と最も多く、次に「取り組むきっかけがつかめない」が18件となっています。



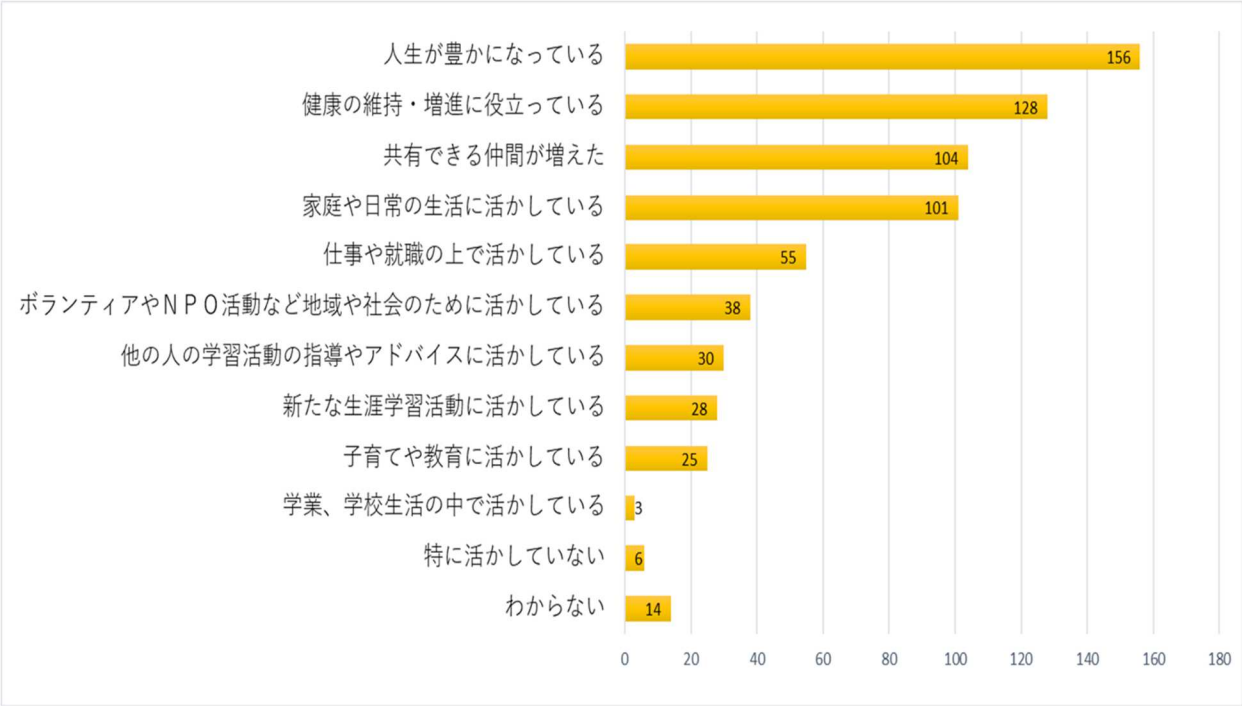
問４　（全員に伺います。）新型コロナウイルス感染症拡大の前後で、あなたの学習活動に変化はありましたか。（回答チェックはいくつでも）

「変化はなかった」が127件と最も多く、次に「研修会・講座、教室など集合形式の学習活動が減った」が80件となっています。



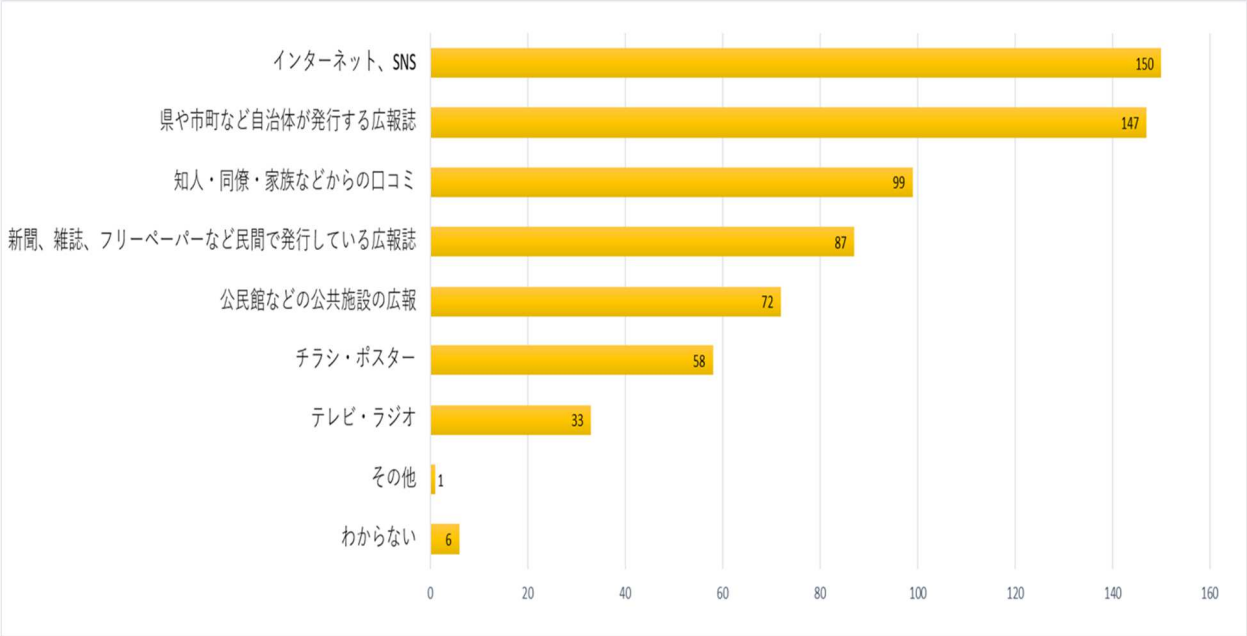
問５　（全員に伺います。）この1年に限らず、これまでの学習活動の経験について伺います。あなたは、これまでの学習活動で学んだ知識や技能、経験等をどのように活かしていますか。（回答チェックはいくつでも）

「人生が豊かになっている」が156件と最も多く、次に「健康の維持・増進に役立っている」が128件、「共有できる仲間が増えた」が104件となっています。



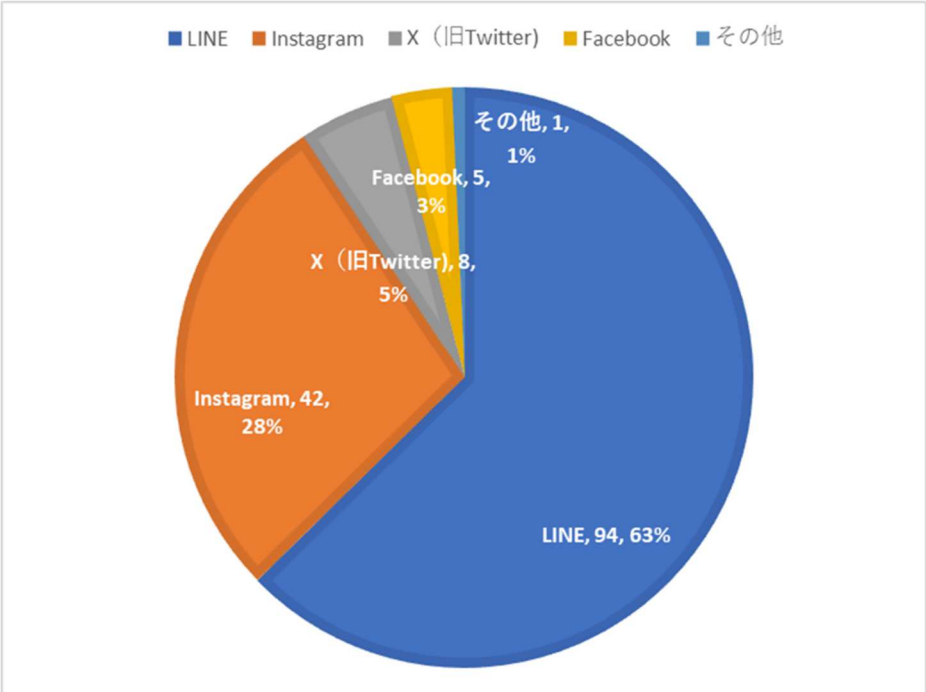
問６　あなたは、様々な学習の情報をどこから得ていますか。（回答チェックはいくつでも）

「インターネット、SNS」が150件と最も多く、次に「県や市町など自治体が発行する広報誌」が147件、「知人・同僚・家族などからの口コミ」が99件となっています。



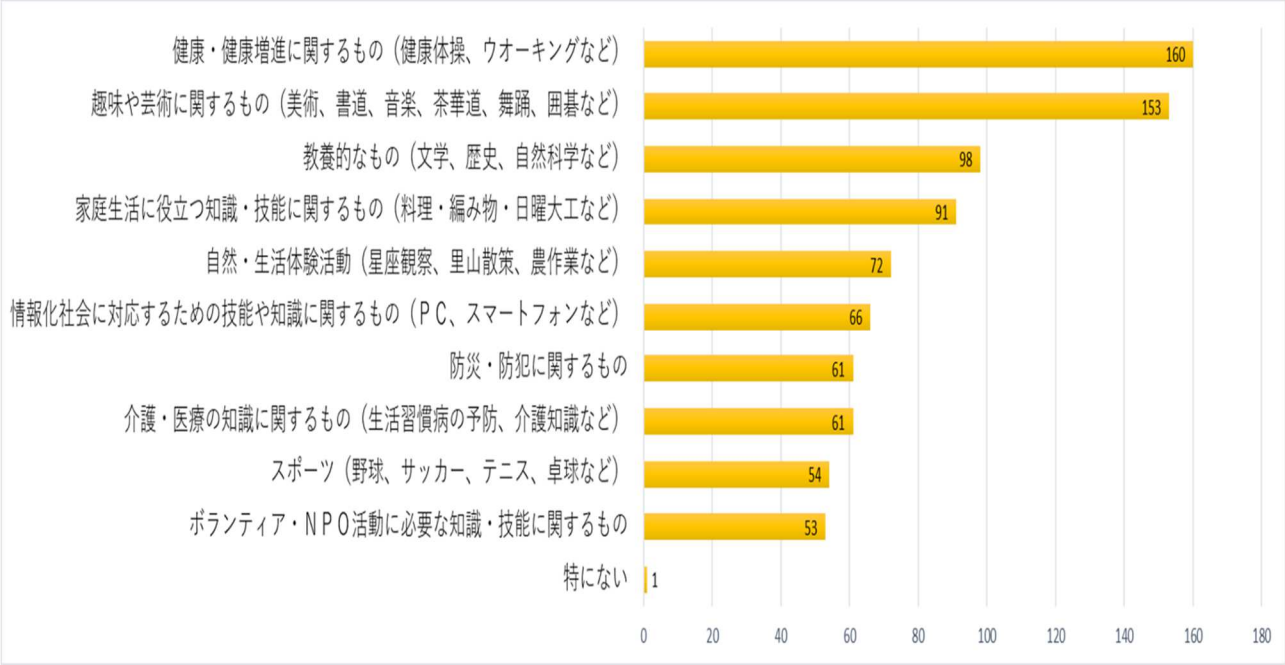
問７　（問６でインターネット、SNSと回答した方へ）インターネット、SNSの中で主に使うものは何ですか。（いずれか１つ）

「LINE」が94件と最も多く、次に「Instagram」が42件となっています。



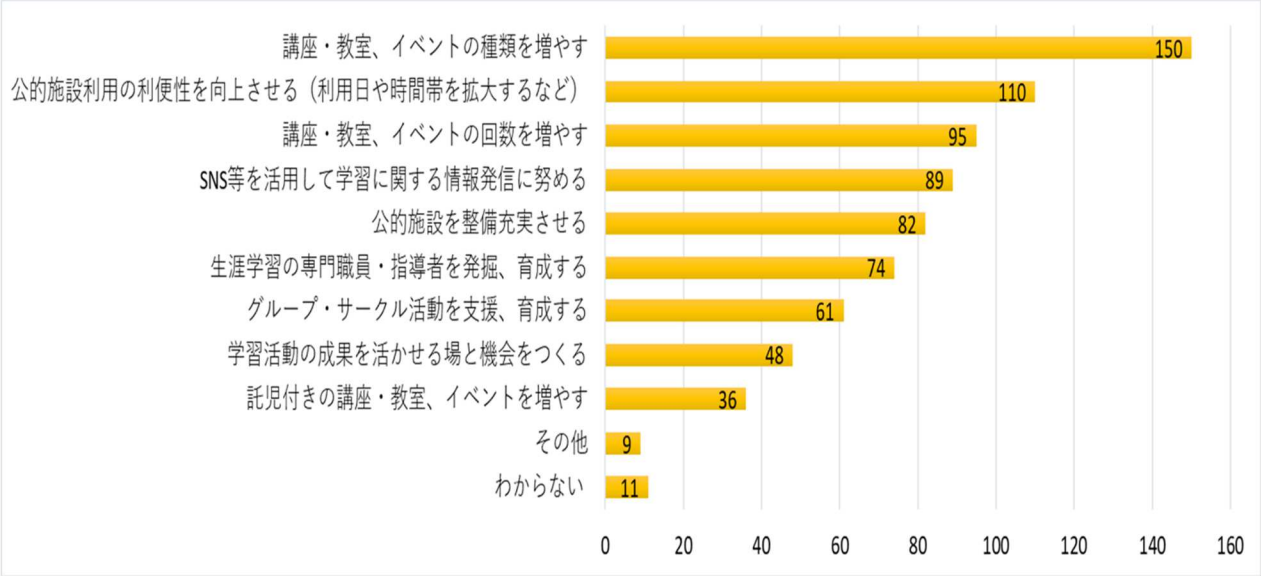
問８　将来行いたい学習活動は何ですか。（今行っているものも含めて）（回答チェックはいくつでも）

「健康・健康増進に関するもの」が160件と最も多く、次に「趣味や芸術に関するもの」が153件となっています。これは問１の回答とほぼ同様となっています。



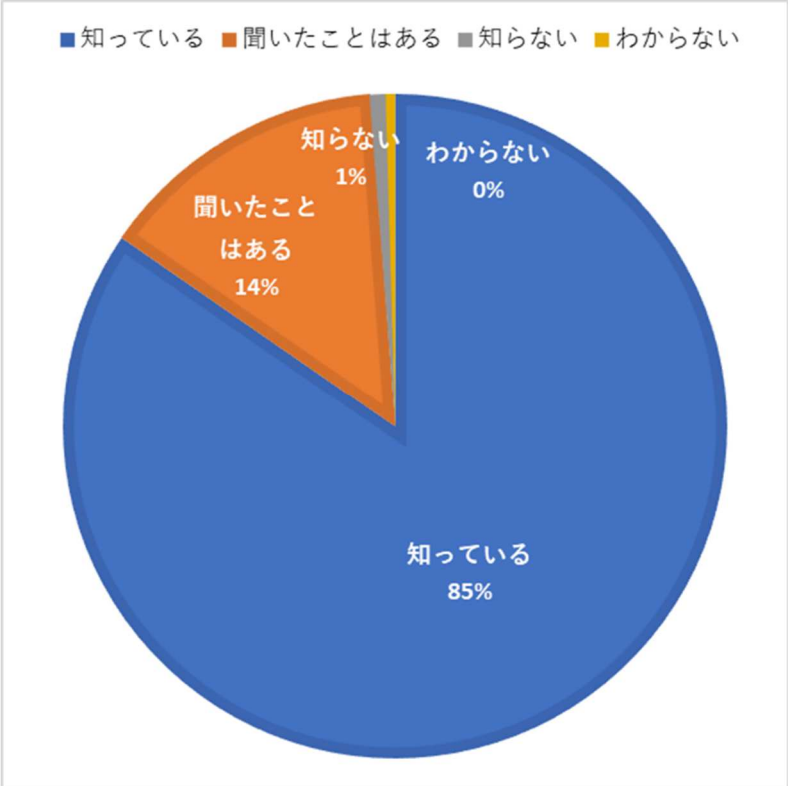
問９　今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために、島田市はどのような具体的取組みに力を入れるべきだと思いますか。（回答チェックはいくつでも）

「講座・教室、イベントの種類を増やす」が150件と最も多く、次に「公的施設利用の利便性を向上させる（利用日や時間帯を拡大するなど）」が110件、「講座・教室、イベントの回数を増やす」が95件となっています。



問10　「生涯学習」という言葉を知っていますか。

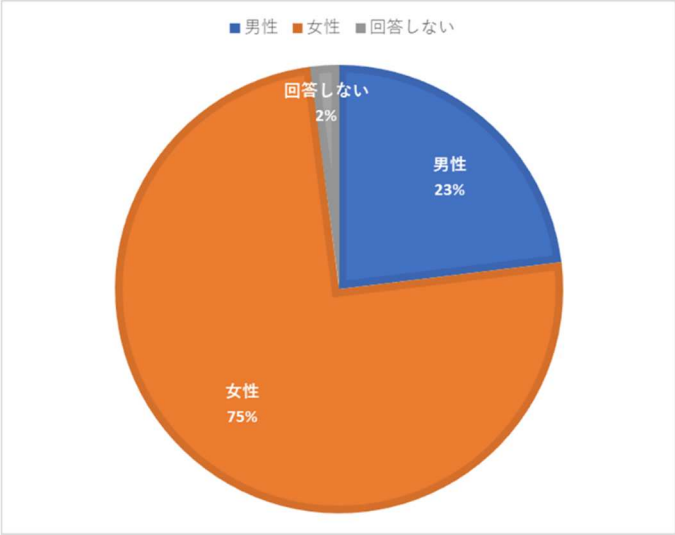
「知っている」が85%と最も多く、次に「聞いたことはある」が14%で、「知らない」や「わからない」は１%です。



Ⅲ　あなた御自身について

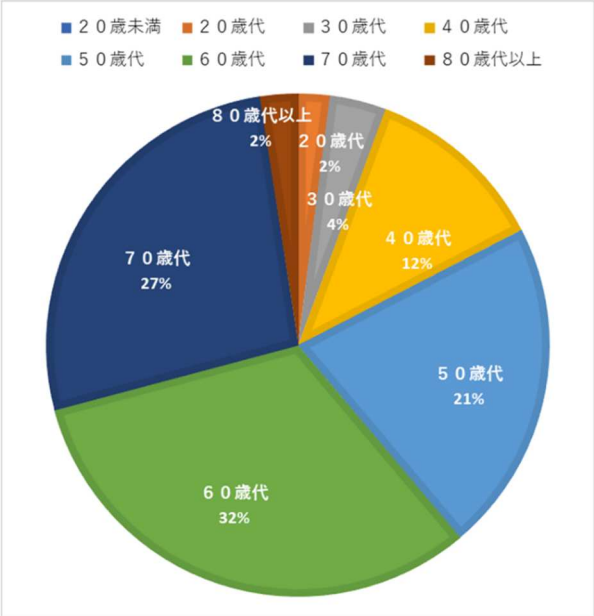
性別

性別については、「女性」が75%と最も高く、次に「男性」が23%、「回答しない」が２%となっています。



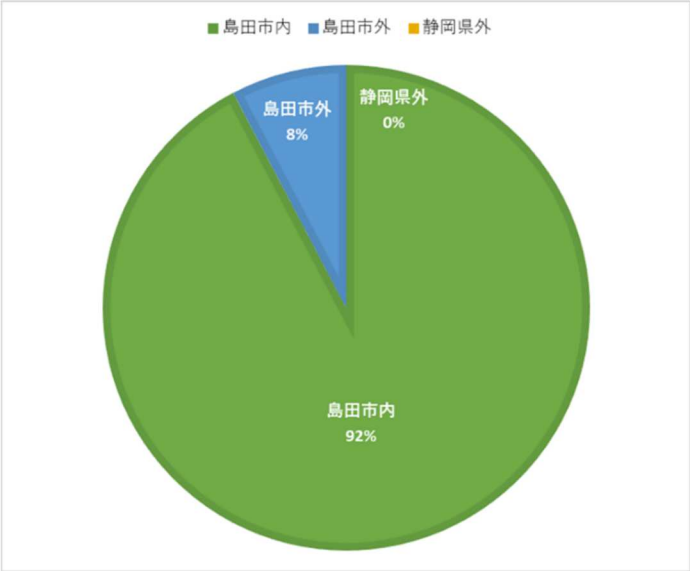
年代

年代については、「60歳代」が32%で最も高く、次に「70歳代」が27%、「50歳代」が21%となっています。



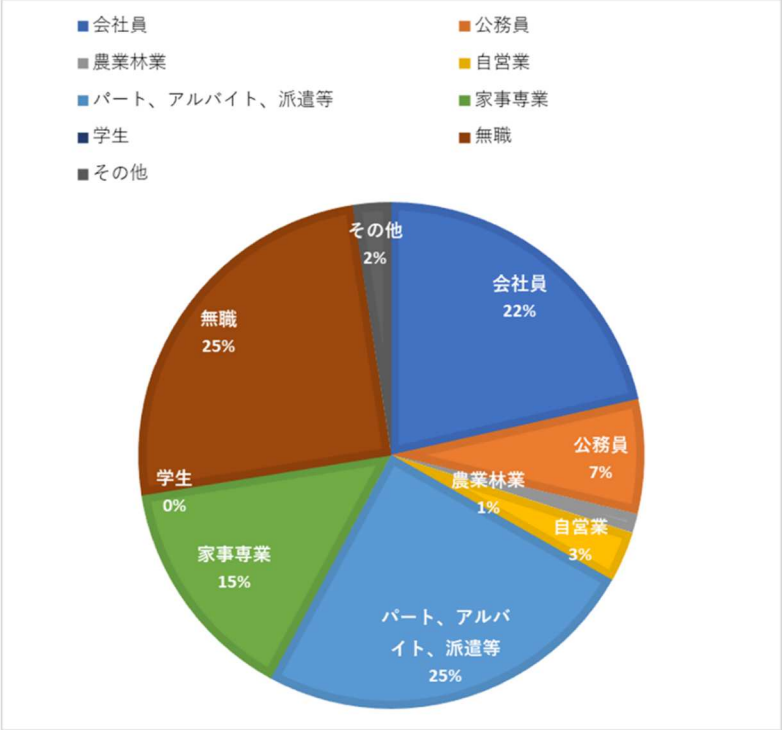
居住地

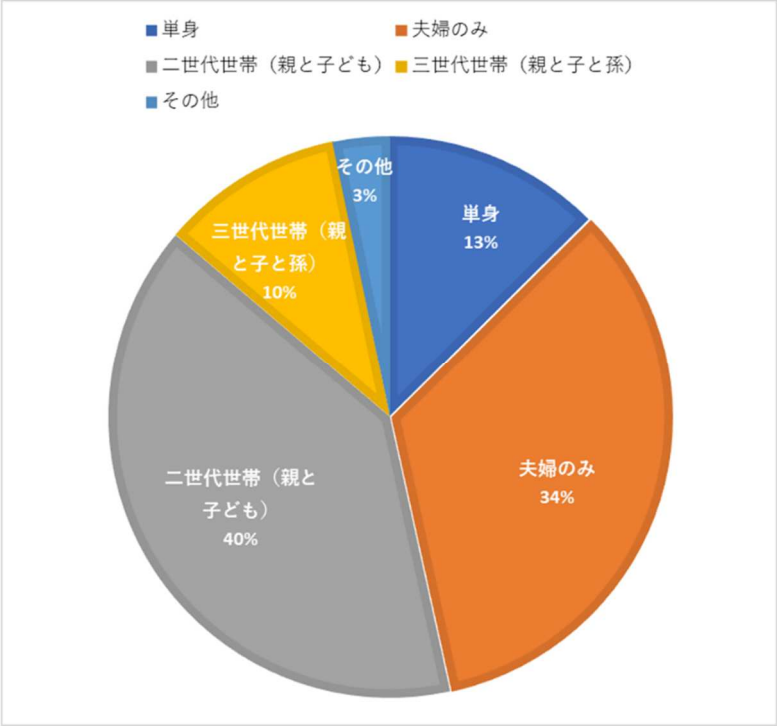
居住地は「島田市内」が92%と最も高く、次に「島田市外」が８%となっています。



職業

職業は「パート、アルバイト、派遣等」及び「無職」が25%と最も高く、次に「会社員」が22%となっています。



家族構成

家族構成は「二世代世帯（親と子ども）」が40%と最も高く、次に「夫婦のみ」が34%となっています。